

# 第1学年 国語科 学習構想案

日時 令和2年10月29日(木) 第4校時  
 場所 1年1組教室  
 指導者 教育実習生

## 1 単元構想

単元名	つながりの中で 大人になれなかった弟たちに……		
単元の目標	(1)場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えることができる。 [思考力、判断力、表現力等] C (1) イ (2)文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする事ができる。 [思考力、判断力、表現力等] C (1) オ (3)事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 [知識及び技能] (1) ウ (4)登場人物の心情や表現に着目して筆者が伝えたいことについて考えることに粘り強く取り組み、自分の思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力、人間性等]		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使おうとし、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。—(1)ウ—	①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(C (1) イ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C (1) オ)	①登場人物の心情や表現に着目して筆者が伝えたいことについて考えることに粘り強く取り組み、学習の見通しをもって自分の考えをもち、伝え合おうとしている。
単元終了時の生徒の姿 (単元のゴールの姿・期待される姿)			
筆者が伝えたい戦争への思いをどのようにして表現しているのかを自分の言葉で説明する姿。			
単元を通じた学習課題 (単元の中心的な学習課題)		本単元で働かせる見方・考え方	
「大人になれなかった弟たちに……」を読んで感じた筆者の思いを紹介カードにまとめ伝え合う。		人物や情景の描写に着目し、行動や心情の変化をとらえることを通して、言葉への自覚を高めること。	
指導計画と評価計画 (5時間取扱い 本時4/5)			
過程	時間	学習活動 (「問い」を設定しても可)	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	1	○グッとくる文や言葉を見つけ、ワークシートに書く。	★【思②】 (観察・ワークシート)
二	3	○母はなぜ盗み飲みをしていた僕を叱らなかったのかについて考える。 ○母について描写されている部分から、母の心情を読み取る。 ○ヒロユキは幸せだと思ふかについて考え、「 <u>幸せだった</u> 」と言った母の心情を読み取る。【本時】	★【態①】 (発言・ノート) ○戦時中の食糧事情や、その時代を生きる人のつらさについて考えている。 ★【思①】 (発言・ノート) ○母が戦時中の過酷な状況の中でも、たくましく子どもを守っていくと強く決心していることについて考えることができている。
三	1	○単元を通して感じた筆者の思いを、表現を根拠に紹介カードに書き、友達に自分の言葉で紹介する。	★【知①】 (発言・ノート) ○本文中の表現を用いて、自分が考える筆者の思いを自分の言葉でまとめている。

## 2 単元における系統及び生徒の実態

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)				
中学校学習指導要領第1学年 【知識及び技能】(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ウ 【思考力、判断力、表現力等】「C読むこと」(1)イ オ				
教材・題材の価値				
本教材は、筆者である米倉齊加年さんによって、自らの体験をもとに書かれたものである。太平洋戦争を背景に、弟のヒロキが栄養失調で亡くなるまでの様子を描いており、戦争がもたらす様々な悲惨さとともに、生命や平和について深く考えさせる内容となっている。				
本単元における系統				
中1「星の花が降るころに」 場面の展開に着目して、人物の変化を読み取る。	中1「大人になれなかった弟たちに……」 人物の行動や情景描写から心情を読み取る。	中1「少年の日の思い出」 語り手に着目して読む。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">             中2「アイスプラネット」              登場人物の言動に着目して、人物の関係や心情の変化を捉える。           </div>				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">             中3「故郷」              表現や場面、登場人物の設定に着目して、内容を読み深める。           </div>				
生徒の実態(単元の目標につながる学びの実態)				
<b>■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況(標準学力調査)</b>				
調査内容	正答	誤答	無答	正答率
登場人物の心情をとらえることができる。	9人	0人	0人	100.0%
登場人物の心情の変化をとらえることができる。	7人	2人	0人	77.8%
文章の表現の特徴をとらえることができる。	5人	3人	1人	55.6%
<b>■本単元の学習に関する意識の状況</b>				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
国語の学習が好きである。	1人	8人	0人	0人
国語の授業内容はよく分かる。	4人	5人	0人	0人
学級の友達と話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う。	3人	4人	2人	0人
課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。	1人	6人	2人	0人
授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていると思う。	2人	5人	2人	0人
<b>■考察</b> (資質・能力に関して) 文章の表現の特徴をとらえることが不十分な状況である。そのため、生徒が気になった文章をとりあげ、なぜそのように感じられるのかについて話し合わせ、表現の特徴について考えさせることが必要である。 (学びに関して) 国語の学習に対して前向きな生徒が多くみられる一方で、自分の考えを深めたり広げたりするというような深い学びにはまだ至っていない生徒がいることも分かる。また、課題解決に向けて自分で考え、取り組んでいるという実感も少ない。そのため、話し合い活動を取り入れ、その中で他者の意見を聞いて自分の考えがどのように変わったかを振り返る場面を設定し、学びが深まった実感を持たせる学習が必要である。				

## 3 指導に当たっての留意点

校内研修テーマ 「学ぶ意味を理解し、自ら学ぼうとする生徒の育成」

～「学習チューター制」、「授業のUD化」、「学習環境の充実」の取組を通して～

研究の視点：①個に応じた指導を組み入れた授業展開 ②授業のUD化

○各グループの意見をホワイトボードに書かせ、全体でまとめていく。【共有化】

○前時の学習をパワーポイントにまとめ、視覚的に振り返りやすくする。【視覚化】

※「人権が尊重される授業づくりの視点から」

ヒロユキの死や母の心情について考えることを通して、戦争の悲惨さを感じ、命の大切さについて改めて考えさせたい。グループでの話し合いでは、友達の見解を受け止め、否定せず、自分の意見と重ね合わせて他者との話し合いによって考えが深まったことを実感させたい。

#### 4 本時の学習

(1) 目標 母の言葉について考えることを通して、母の心情を読み取ることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	8分	1 課題をつかむ ①前時の学習を振り返る。  【めあて】母の思いについて考えよう。	○パワーポイントを使って、視覚的にも振り返りやすくする。
		②学習課題の確認をする。  【学習課題】 母はなぜわざわざ「幸せだった」と言ったのか考えよう。	○ヒロユキが死んだのは栄養失調のせいであることを確認したうえで考えさせる。
展開	37分	2 課題解決に向けて活動する ①自分自身は、ヒロユキのことを幸せだと思うか考える。 ◇栄養失調で死んでしまうのは幸せじゃない。  ②母はなぜわざわざ「幸せだった」と言ったのかについて自分の考えをもつ。 ◇幸せだと思ひ込みたかった。 ◇子どものために強く生きると決めたから。	(個に応じた支援) ○ノートに意見を書くことができていない生徒には、前時までの学習を振り返らせる。  (言語活動の設定および設定の意図) ○友達の見解を聞いたり、自分の考えを伝えたりすることで、自分の考えを深めることをねらう。
		③グループで考えを交流する。 ④グループの意見を代表者が発表し、全体で話し合う。  【期待される学びの姿】 「幸せだった」と言った母の心情を読み取ることを通して、当時の悲惨な状況について考えている。 3 学習課題に対する答えをまとめる。	(課題解決に粘り強く取り組もうとするための方向付け) ○個で考える時間を確保することで、全員が考えを発表することができるようにする。 ○各グループの発表内容を整理し、考えを深めさせる。  (目標に達しない生徒への手立て) 他のグループの発表ボードを参考に、自分の考えをもたせる。  【具体の評価規準】観点 ○ヒロユキの死を何とか受け止めようとしている母の気持ちに気づく。 (方法：ワークシート・発言)
終末	5分	4 学習の振り返りをする。  【まとめ】 子どもを守るために強く生きると決めたため、少しでもましだと思い込んで、自分を納得させようとした。	【到達していない生徒への手立て】 ○全体で話し合った内容を板書でまとめ参考にさせる。

【板書計画】

<p>〈ゴール〉 「大人になれなかった弟たちに……」を読んで感じた筆者の思いを紹介カードにまとめ伝え合おう。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; margin: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; margin: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; margin: 5px;"></div> </div>	<p>〈学習課題〉 母はなぜわざわざ「幸せだった」と言ったのか考えよう。</p>
		<p>めあて 母の思いについて考えよう。 米倉育加年</p> <p>大人になれなかった弟たちに……</p>

【ICT活用計画】

<p>例：教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等</p>
<p>前時までの生徒の読みとりをまとめたものを見ながら振り返り、本時に生かす。</p>

※その他 課題解決を図る情報収集計画、検証結果やパフォーマンスの記録計画など（シーンに応じて活用計画を立てる）

【見方・考え方を働かせて解く適用問題等の計画】

<p>例：単元の終末では、見方・考え方を働かせて次の学習に取り組む</p>
<p>「文章の展開や表現の特徴について自分の考えを持つこと」についての定着状況の確認</p> <p>○【熊本県学力調査】平成30年第1学年大問3 令和元年度第1学年大問5 平成30年度課題克服プリント「読んだ本の魅力を紹介しよう」</p> <p>○本単元に働かせた見方・考え方を生かして「少年の日の思い出」を読む。</p>